

ずい道内及び鉱山坑内の粉じん濃度の比較

資料 4 - 2

令和2年10月

粉じん濃度の測定場所等			粉じん濃度 (mg/m ³)	出典等
ずい道内	掘削断面積60m ² 以上のずい道 (NATM採用の72現場)	コンクリート吹付	平均 4.16	報告書P36の3(1) 建設業労働災害防止協会(2000) ずい道工事における換気技術委員会報告書
		ずり出し	平均 3.11	同上
	掘削断面積60m ² 未満のずい道 (NATM採用の17現場)	コンクリート吹付	平均 5.11	同上
	山岳トンネル (データ数8つ)	1サイクル定点測定	各トンネルの平均 0.96～1.77	報告書P37-38の3(4) 労働安全衛生総合研究所による 2018 年・2019 年の測定結果
鉱山の坑内	17鉱山 (17鉱山の内訳: 石炭1、金属2、非金属4、石灰石10)		各鉱山の幾何平均値の 最大値の平均値	今回の調査結果
			各鉱山の幾何平均値(全データ) の平均値	
			各鉱山の幾何平均値 の平均値	
			幾何平均値の最大値	

○報告書: 「トンネル建設工事の切羽付近における作業環境等の改善のための技術的事項に関する検討会」報告書(令和2年1月30日)

○NATM: 山岳部におけるトンネル工法の一つ。NATMは硬い地盤をもつ山岳部における鉄道や道路といった交通のためのトンネルの掘削や施工に用いられる。機械化されている部分が多いため、少人数での施工が可能。

○1サイクル: トンネル掘削時の発破後から装薬前までの工程。